

質問に対する回答
(ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務)

No.	受付日	質問内容	回 答
1	令和8年10月8日	企画案の審査基準欄に記載いただいている内容に「料理の企画内容（県産食材・食品の選定、メニュー・レシピ開発等）が、県産農林水産品の魅力発信・認知度向上に資する内容となっているか。」とございますがこちらは飲食店のマッチングを、弊社で行う認識でよろしいでしょうか。	飲食店のマッチングは想定しておりません。 「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務 実施イメージ」中「2（1）青森県産食材の例」で例示している食材等を活用した料理メニューを御提案いただくことを想定しております。 なお、提案者が自らメニュー開発を行うほか、提案者の提携企業・取引先等、外部の専門家等（料理人・飲食店等）を活用してメニュー開発する方法などが想定されます。 また、御提案いただく料理メニューは、レセプション当日に調理し、レセプション招待者（ベトナム現地バイヤー等）に提供することを想定しております（調理・提供も本業務に含む）。 したがって、レセプション当日に招待者へ提供することを前提に、県産食材の強みや特徴を活かしながら、ベトナム人の趣味嗜好に合致した料理メニューを御提案いただきたいと考えております。
2		青森県産の食材を使った新たなメニュー・レシピの開発となると分野外となってしまいます。 ハノイ現地の料理人へ協力相談の打診をすることは可能ですが、どういう目的と主旨でどのようなことを実現したいのかもう少し具体的にお伺いできますと幸いです。	本業務の目的・趣旨は、県産農林水産品の需要を拡大し、輸出を促進するため、ベトナムにおいて県産農林水産品の魅力発信・認知度向上を企図したレセプションを開催することです。 なお、レセプションにおいては、ベトナム現地バイヤー（商社、小売、飲食店等）等を招待し、県産食材を使用した料理を提供することとしています。 したがって、レセプションを契機に、ベトナムにおいて、県産農林水産品の認知度向上・需要拡大を図るため、提案者には、レセプション当日に招待者へ提供することを前提に、県産食材の強みや特徴を活かしながら、ベトナム人の趣味嗜好に合致した料理メニューを開発いただきたいと考えております。
3		企画書について提出資料のフォーマットや参考ドキュメントがございましたらご共有いただけますと幸いです。	企画提案書にフォーマットや参考ドキュメントはございません。 企画提案書の内容及び提出書類については、「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務 企画提案公募実施要領」中「10 企画提案書等の提出」、「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務仕様書（案）」及び「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務 実施イメージ」を御確認ください。

4		本レセプションの当日のコンセプト案及び式次第案の作成は、本業務の提案範囲に含まれるのでしょうか。来賓のご挨拶や乾杯など、貴県において既に決定されている要素がございましたら、ご教示ください。	レセプション当日のコンセプト案の提案については、本業務の要件とはしていませんが、特定のコンセプトを定めた上で、料理・アトラクションなどレセプションの内容を企画提案いただくことは差し支えありません。 次第については、「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務 仕様書（案）」に記載のとおり、①県挨拶、②乾杯、③懇談、④メニュー説明、⑤アトラクション、⑥記念撮影などを想定しておりますが、来賓挨拶を含め、今後、本県が関係機関及び受注者と調整しながら、決定する形となります。
5	令和8年10月16日	仕様書（案）《レセプション開催概要》（2）場所に関し、大使公邸における、①受注者が使用できる調理設備の有無、②設営・撤収に使用可能な日時（前日搬入の可否を含む）、③装飾物の壁面・天井への固定可否、④映像・音響機材（プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー）の備え付けの有無について、提案及び経費積算の前提とするため、現時点で貴県が把握されている事項がございましたら、ご教示ください。	①について、冷蔵庫及び冷凍庫が借用できる見込みです。大使公邸の調理場及びその他調理設備についても借用できる見込みですが、設備の内容・スペックについては、大使館への確認・調整が必要となります。 なお、テーブル（テーブルクロス含む）や椅子は大使館から借用できる見込みですが、食器類については、発注者が手配することを想定しております。 ②③について、大使館への確認・調整が必要となります。 ④について、大使館の映像・音響機材が借用できる見込みですが、設備の内容・スペック等については、大使館への確認・調整が必要となります。 なお、大使館から事前に許可を得る必要がありますが、受注者が手配した機材を大使館に運搬・使用することは可能です。 なお、上記①～④に係る大使館との調整については、本県又は受注者が行うこととします。
6		料理の提供形式について、当日、大使公邸内で調理しながら来場者へ提供する形式（会場内調理）を想定されていますでしょうか。調理済みの料理を会場へ搬入して提供する形式でも差し支えないでしょうか。	大使公邸内で調理する方法と、大使公邸外で調理した料理をケータリングする方法のいずれでも差し支えありません。 各提案者におかれましては、費用やレセプション当日のオペレーション等を勘案し、最適な方法を御提案ください。

7	令和8年10月16日	仕様書（案）3（1）①の料理の企画、準備及びケータリングについて、10月9日のご回答にて、外部シェフによるメニュー開発が可能である旨承知いたしました。そのうえで、調理及び当日の提供についても、受注者が手配する現地の飲食事業者に再委託して実施することは可能でしょうか。あわせて、再委託を行う場合の条件（事前承認の要否、再委託できない業務の範囲）をご教示ください。また、再委託が可能な場合、提案書には調理を担う料理店・ホテルの候補を記載する予定です。最終的な選定は、受注者・貴県のどちらが行う想定でしょうか。	調理及び当日の提供について、現地の飲食事業者等に再委託の上実施することは差し支えありません。 再委託に係る要件については、最優秀提案者の決定後、提案者と本県で協議の上、契約締結する形となります。 また、企画提案いただいた候補のいずれに再委託するかは、最優秀提案者の決定後、提案者と本県で協議の上、最終的な選定を行います。
8		日本からの輸出に必要な手続き・検査が開催日までに完了しない品目が生じた場合は、ベトナム国内で流通している青森県産品に切り替え、それも確保が難しい品目は、貴県と協議のうえ代替の食材を用いる対応でよろしいでしょうか。	調達に係る費用・時間のほか、ベトナムの輸入規制・通関の状況等を勘案し、ベトナム国内で流通している県産食材を優先的に用いることは差し支えありません。 なお、「令和8年度ベトナムにおける青森県レセプション運営等業務 実施イメージ」において、レセプションで使用する県産食材を例示しておりますが、レセプション当日までに確実に調達できる県産食材を御提案ください。
9		司会・通訳の体制を提案するため、来場者の言語構成（日本語・ベトナム語・英語を話す方の想定比率）をご教示ください。概数又は現時点の見込みで差し支えございません。	レセプションの出席者は70名程度を想定しておりますが、うち20名程度が本県・大使館等主催側関係者（日本語）、50名程度が現地バイヤー等レセプション招待者（ベトナム語又は英語）と見込んでおります。

10	令和8年10月16日	仕様書（案）3（1）⑦の問い合わせ・商談希望への対応において、県内の生産者・事業者が出席される場合、当該事業者が、受注者の手配する通訳を介して、招待者と直接商談を行う想定でしょうか。 また、県内事業者が出席される場合、当該事業者の募集および取りまとめは、貴県と受注者のどちらが担当する想定でしょうか。	仕様書（案）中3（1）⑦「レセプション招待者からの県産品に係る問い合わせ・商談希望への対応」については、レセプション招待者から問い合わせ・商談希望等があった場合に、当該招待者の企業情報及び取引を希望する品目・数量・時期・その他取引条件等を受注者が確認・記録の上、レセプション終了後に、本県へ御報告いただくことを想定しております。 また、県内事業者の出席については、現在調整中ですが、募集及び取りまとめは本県が実施します。なお、県内事業者の出席は、最大で5社程度を見込んでおります。 県内事業者が出席する場合は、受注者が手配する通訳を介して、当該事業者と招待者が直接商談を行うことも想定されます。
11		■ 現地での再委託について 日本及びベトナムの双方に拠点を有する日本法人が代表応募者となり、ベトナムの協力会社に業務の一部を再委託する形は認められますでしょうか。	業務の一部について、ベトナムの協力会社に再委託することは差し支えありません。
12		■ 調理場所について 当日の料理について、大使公邸内の厨房設備を使用して調理することは可能でしょうか。また、公邸内での調理が難しい場合、外部の調理施設で準備した料理を搬入し、会場で盛り付け・提供する形式でも問題ないでしょうか。	大使公邸の厨房設備が借用できる見込みですが、設備の内容・スペックについては、大使館への確認・調整が必要になります。 また、外部の調理施設で調理の上、大使公邸へ搬入し、大使公邸内で盛り付け・提供する方法も差し支えありません。 各提案者におかれましては、費用やレセプション当日のオペレーション等を勘案し、最適な方法を御提案ください。